

被害状況(一般被害)

●地震による犠牲者の多くは、「建物倒壊」や「土砂崩れ」が原因。

「新潟県中越地震」で犠牲になった人の多くは、建物の倒壊や土砂崩れにまきこまれて亡くなっている。

新潟県は、「地すべり」「土石流」を始め、全国的にも土砂災害多発地帯として知られている。「新潟県中越地震」の震源地周辺も例外ではなく、信濃川が運んだ堆積層で地盤はけって良くはない。加えて、7月には梅雨前線の停滞により未曾有の降水量となった「7.13水害」が、また、先の台風23号による大量の降雨によって地盤が緩んでいたなかでの地震発生となり、各地で被害を拡大させている。

■人的被害の内訳

死者	39	死因	建物倒壊・土砂崩れ	15
			地震によるショック	12
			被災後の過労・病気	12
行方不明者	0			
負傷者	2,613			

新潟県資料



建物倒壊による犠牲者が発生(新潟日報社提供)



土砂崩れによる家屋倒壊

●道路の寸断により、各地に「孤立集落」。

ライフラインの復旧に大きな支障。

地震発生直後、山古志村が全地区(14集落)孤立したのを始めとして、長岡市・小千谷市など4市2町1村で最大61集落が孤立した。

公共交通の整備が充分でない地域では、移動を自動車に依存している。新潟県中越地方においても例外ではなく、地震発生により道路という唯一の交通手段を絶たれたことで、各地で集落が孤立し、避難を困難にした。加えて、その後の救援物資の搬入や、ライフラインの復旧をも大きく遅らせる要因となっている。

■孤立集落数(ピーク時)

市町村名	孤立集落数
十日町市	9
小千谷市	27
川口町	3
栃尾市	3
小国町	1
長岡市	4
山古志村	14(全地区)
合計	61



川口町の孤立した集落では、道路に文字を書き、ヘリに食料や生活物資の救援を求めた(新潟日報社提供)



道路の早期復旧を望む被災者の声(NHKニュース映像より)

自衛隊ヘリにより、孤立集落の住民が避難した(山古志村)(共同通信社提供)

■特に被害が大きい市町村

【長岡市】
死者6名、負傷者447名
住家被害
・全半壊、火災等 101棟
・一部損壊 不明
避難住民 18,994人

【山古志村】
死者2名、負傷者 不明
住家被害
・全半壊、火災等 不明
・一部損壊 不明
避難住民(全村民) 2,167人

【小千谷市】
死者12名、負傷者731名
住家被害
・全半壊、火災等 39棟
・一部損壊 不明
・床上、床下浸水 40棟
避難住民 28,667人

【川口町】
死者4名、負傷者51名
住家被害
・全半壊、火災等 277棟
・一部損壊 不明
避難住民 5,692人

【十日町市】
死者5名、負傷者500名
住家被害
・全半壊、火災等 4棟
・一部損壊 1,549棟
避難住民 5,924人

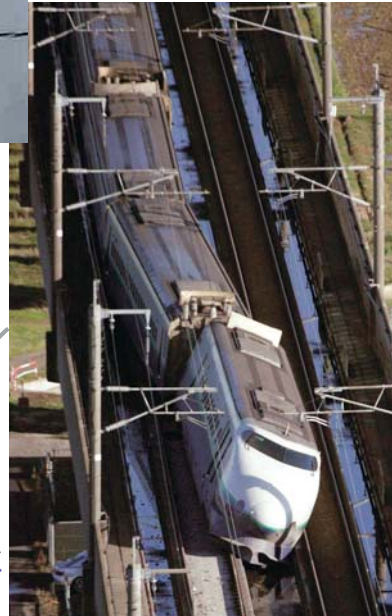
※市町村の下の数字は孤立集落数



1 関越道の被災状況(堀之内IC~川口IC)

●高速交通の寸断により、首都圏とも「交通途絶」。

10月23日、地震発生直後の高速道路は、北陸自動車道の上下線、柏崎インターチェンジから三条・燕インターチェンジが、関越自動車道は、上りの長岡ジャンクションから湯沢インターチェンジ間、下りの月



夜野インターチェンジ(群馬県)から長岡ジャンクションで通行止め。国道は8号・17号・117号・252号・291号など中越地域の55箇所通行止めまたは片側交互通行の規制を余儀なくされた。このため、上越新幹線の脱線事故による運休、各地でのローカル線の運休をも含め、一時、首都圏との交通網は寸断された。

その後徐々に復旧してきているものの、交通の途絶による新潟県全体の経済活動への影響が懸念されている。

2 上越新幹線の不通により首都圏との交通がマヒ(共同通信社提供)

●強い揺れを起す余震活動が、復旧の「足かせ」。

「新潟県中越地震」の余震活動は、活発な時期と比較的静穏な時期を繰り返しながら、全体としては衰退傾向にある。しかし、10月27日、地震の余震としては三番目に強い震度6弱(マグニチュード6.1)を観測するなど一つ一つの揺れが強いことが、今回の地震の特徴となっていることから、二次災害を防止しつつの復旧作業を進める上で大きな「足かせ」になっている。

加えて、山古志村では、本震・余震による崩落土砂が河川を堰き止め、天然ダムを形成しているが、土砂崩落は同時に交通路も寸断し、復旧作業の大きな「足かせ」となっている。

また、長期化する余震活動のために、住宅の倒壊など二次災害の懸念が大きく、ピーク時には10万人を超えた避難住民は減少しているものの、11月4日現在でも4万3千人を超える住民が避難している。



山古志村や川口町では道路の寸断により孤立集落が発生。山古志村では全村避難を余儀なくされた(新潟日報社提供)

■新潟県内の一般被害

	人的被害				避難住民	住家被害			非住家被害	
	死者	行方不明者	重傷	軽傷		全壊(流出含む)	半壊	一部損壊	火災	公共施設
新潟県計(14市31町14村)	39人	0人	2,613人		41,680人	415棟	874棟	8,758棟	9棟	3,994棟
ライフライン	電力(停電)		ガス(供給停止)		水道(断水)					
新潟県計 ※()内はピーク時	約2,310戸(約278,000戸)		15,070戸(約56,000戸)		6,222戸(約110,000戸)					

※いずれも新潟県資料